


三重県オープンゴルフ選手権競技 歴代優勝者


参加者の○は欠場者数で内数。

回数	開催日			各部優勝者		Score	Yards	Par	写真
	開催コース	優勝賞金	天候	プロの部	アマチュアの部				
第42回	2020/6/9~10	(令和2年)		各部優勝者					
	涼仙ゴルフ倶楽部			プロの部	アマチュアの部				
	戦況	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止			ベストスコア賞(1日目)				
				ベストスコア賞(2日目)					
第41回	2019/6/6~7	(令和元年)		各部優勝者		68(32、36)	6959yd	72	
	近鉄賢島カントリークラブ			プロの部	アマチュアの部				
	優勝賞金	200万円 (1日競技のため75%の150万円)	天候	1日目/晴れ、2日目/雨のため中止		72			
	戦況	初日の晴れから一転、朝から土砂降りとなった。一旦は試合中断で待機となったが、天候の回復が見込まれず、全員のホールアウトが難しいことから試合中止が決定された。41回の歴史の中で、初めての1日競技となり、初日首位の近藤龍一の優勝が決まった。			ベストスコア賞(1日目)	近藤 龍一(鳴海)	68		
				ベストスコア賞(2日目)	—				
第40回	2018/6/6~7	(平成30年)		各部優勝者		140(68、72)	7280yd (第1日は7235yd)	72	
	桑名カントリー倶楽部			プロの部	アマチュアの部				
	優勝賞金	300万円	天候	第1日/雨、第2日/曇りのち晴れ		144(72、72)			
	戦況	1979年に第1回以来、節目の第40回大会は名匠・井上誠一氏が手掛けた桑名CCが舞台。初日にただ一人アンダーパーをマークした中村が2日目も2バーディ2ボギーのイーブンで回り、一度も首位を譲らず独走Vを果たした。優勝賞金は記念大会で増額。第1回から連続出場選手は寺嶋祐夫(四日市)、出口栄太郎(鈴峰)、寺嶋誠志(三鈴)の3人。また、セカンドニアピン賞(18H)は、アマチュアの大山碩済選手(ライオンズ)が獲得した。			ベストスコア賞(1日目)	中村 匡志(フリー)	68		
				ベストスコア賞(2日目)	野村 朗(南山) 小畑 拓成(榊原)	68			
第39回	2017/6/7~8	(平成29年)		各部優勝者		140(69 71)	6950Y	72	
	三鈴カントリー倶楽部			プロの部	アマチュアの部				
	優勝賞金	200万円	天候	1日目/雨 2日目/雨のち曇りのち晴れ		148(75 73)			
	戦況	肌寒さを感じる雨模様の中、首位は3アンダーで森雄貴。84ストロークまでの120人が決勝に進出。森は「内容は今ひとつ」としながらも初優勝。追う山本利技(滋賀)や梶川武志(梶川・久古ゴルフアカデミー)はスコアを崩した。森は6年前にローアマを獲得してプロ宣言、2016年プロテスト合格。今回は18番Hでセカンドニアピン賞があり、盛り上がった。			ベストスコア賞(1日目)	森 雄貴(グレイスヒルズ)	69		
				ベストスコア賞(2日目)	平井 伸泰(フリー)	68			
第38回	2016/6/8~9	(平成28年)		各部優勝者		135(69 66)	6549Y	71	
	三重カントリー倶楽部			プロの部	アマチュアの部				
	優勝賞金	200万円	天候	1日目/曇りのち晴れ 2日目/曇り		142(66 76)			
	戦況	アウトインを入れ替え、15番H(通常6番H)パー5をパー4にするなど、オープンらしい環境づくりがなされた。1日目、中山選手がアマコースレコード66で首位。2日目も一時2位に4打差をつけたが、6番Hから3連続ボギー。前半4アンダーまで伸ばしていた梶川が、通算7アンダーで県オープン初優勝。			ベストスコア賞(1日目)	中山綱也(リオフジワラ/中部学院大1)	66 ※アマコースレコード		
				ベストスコア賞(2日目)	梶川武志(フリー)	66			

第37回	開催日	2015/6/11~12 (平成27年)		各部優勝者		Score	Yards	Par
	開催コース	名四カントリークラブ		プロの部 67名(4)	◆参加67(4) 原田大介(フリー)	137(68 69)	6915Y	72
	優勝賞金	200万円	天候 1日目/晴れ 2日目/曇り	アマチュアの部 100名(2)	◆参加100(2) 関 淳悟(ローモンド)	141(70 71)		
	戦況	17Hで通算7アンダーで並んだ金井泰司(14hill's)比嘉拓也(フリー)原田大介が、そのままプレーオフへ突入。18Hの繰り返しで行われたプレーオフ2ホール目、ただ一人パーディーを決めた原田が覇者。			ベストスコア賞 (1日目)	金井泰司 (14hill's) 比嘉拓也 (フリー)	67	
ベストスコア賞 (2日目)					斎藤智洋 (フリー)	68		

第36回	開催日	2014/6/11~12 (平成26年)		各部優勝者		Score	Yards	Par
	開催コース	スリーレイクスカントリークラブ		プロの部	◆参加61(2) 立石知大(知多)	143(69 74)	6936Y	72
	優勝賞金	200万円	天候 1日目/曇り 2日目/曇りのち晴れ	アマチュアの部	◆参加96(10) 阪野智久(ライオンズ)	148(70 78)		
	戦況	初日首位は3アンダーで立石知大と山本範幸。2日目もタフなコンディションに混戦から徐々に脱落、立石と竹内廉とのプレーオフに突入した。勝負は1ホール目で、立石が7メートルのパーバットを先に決め、3メートルを外した竹内を制した。34歳、プロ12年目の初優勝だった。アマチュアの阪野選手も初のローアマ。			ベストスコア賞 (1日目)	立石知大 (知多) 山本範幸 (ローモンド)	69	
ベストスコア賞 (2日目)					山本利技 (ジャパンクラシック) 井出勉 (わかさ)	70		

第35回	開催日	2013/6/13~14 (平成25年)		各部優勝者		Score	Yards	Par
	開催コース	四日市カントリー倶楽部		プロの部	◆参加65(3) 谷岡達哉(白山ヴェレჯ)	137(68 69)	7305Y	72
	優勝賞金	200万円	天候 1日目/晴れ 2日目/晴れ	アマチュアの部	◆参加97(2) 藤井広文(桑名)	151(78 73)		
	戦況	開催月が6月となった。猛暑の2日間だった。初日を4アンダーで首位に立った谷岡達哉が、2日目も前半の7番では見事なイーグルを奪うなど独走。2位に5打差をつけて初優勝。四日市CCは谷岡(39歳)が研修生時代から育った倶楽部だけに「恩返しができた」と感慨無量だった。ローアマは56歳の藤井選手が若手を抑えて勝利。			ベストスコア賞 (1日目)	谷岡達哉 (白山ヴェレჯ)	68	
ベストスコア賞 (2日目)					谷岡達哉 (白山ヴェレჯ)	69		

第34回	開催日	2012/8/2~3 (平成24年)		各部優勝者		Score	Yards	Par
	開催コース	伊勢カントリークラブ		プロの部	◆参加61(2) 大畑竜也(ゴルフプロモーション)	134(65 69)	7039Y	72
	優勝賞金	200万円	天候 1日目/晴れ 2日目/晴れ	アマチュアの部	◆参加97(9) 伊藤有志(ローモンド)	142(68 74)		
	戦況	初日も2日目も、大畑竜也と西原健太が互いに一歩も譲らず、抜きつ抜かれつを繰り返して、プレーオフ勝負となった。ホームの西原に対し、完全アウェイの大畑だったが、2ホール目の17番Hで決着した。プロ12年目の初勝利だった。31歳。ローアマも伊藤有志(三重高3年)と北村聡馬(伊勢高2年)のプレーオフとなり、伊藤に軍配。また、2日目に北村選手が66をマーク、アマコースレコードを更新した。			ベストスコア賞 (1日目)	大畑竜也 (ゴルフプロモーション) 西原健太 (伊勢)	65	
ベストスコア賞 (2日目)					岸本翔太 (グリーンヒル関)	65		

第33回	開催日	2011/8/4~5 (平成23年)		各部優勝者		Score	Yards	Par
	開催コース	チェリーレイクカントリークラブ		プロの部	近藤啓介 (南山)			72
	優勝賞金	200万円	天候 1日目/ 2日目/	アマチュアの部	森 雄貴 (チェリーレイク)			
	戦況				ベストスコア賞 (1日目)			
ベストスコア賞 (2日目)								

第32回	開催日	2010/8/5~6	(平成22年)	各部優勝者			Score	Yards	Par
	開催コース	メナードカントリークラブ青山コース			プロの部	井上 優 (世古口建設)			72
	優勝賞金	200万円	天候	1日目／ 2日目／	アマチュアの部	藤井広文 (四日市)			
	戦況				ベストスコア賞 (1日目)				
					ベストスコア賞 (2日目)				

第31回	開催日	2009/8/6~7	(平成21年)	各部優勝者			Score	Yards	Par
	開催コース	タートルエースゴルフ倶楽部			プロの部	清水正貴 (タートルエース)			72
	優勝賞金	200万円	天候	1日目／ 2日目／	アマチュアの部	藤井広文 (四日市)			
	戦況				ベストスコア賞 (1日目)				
					ベストスコア賞 (2日目)				

回数	開催年	開催クラブ	優勝者(所属)	ローアマチュア(所属)
第30回	平成20年(2008)	桑名CC	青山 浩嗣(ジュディック)	岡崎 健太(三学連)
第29回	平成19年(2007)	西日本セブンスリーGC	永井 友之(みずなみ)	伊藤 慎也(六石)
第28回	平成18年(2006)	合歓の郷GC	浦口 裕介(フリー)	小山 正行(ライオンズ)
第27回	平成17年(2005)	松阪CC	小山栄治郎(西日本セブンスリー)	岩越 祐輔(三学連)
第26回	平成16年(2004)	四日市セントラルGC	豊田 邦裕(樹王)	飯田 耕正(ジャパングラシック)
第25回	平成15年(2003)	伊勢CC	富田 雅哉(瑞陵)	伊藤 涼太(中日)
第24回	平成14年(2002)	一志GC	尾崎 智勇(フリー)	斎藤 元一(伊勢)
第23回	平成13年(2001)	スリーレイクスCC	沢田 尚(大山田ロイヤル)	金原誠治郎(中日)
第22回	平成12年(2000)	霞GC	川瀬 順次(フリー)	金原誠治郎(中日)
第21回	平成11年(1999)	島ヶ原CC	小山栄治郎(西日本セブンスリー)	西海 元彦(名張)
第20回	平成10年(1998)	四日市CC	前田 真吾(中日)	中島 良彦(伊勢湾)
第19回	平成9年(1997)	三鈴CC	小山栄治郎(西日本セブンスリー)	春日井 修(多度)
第18回	平成8年(1996)	セントレイクスGC	小山栄治郎(西日本セブンスリー)	後藤 弥平(四日市)
第17回	平成7年(1995)	合歓の郷GC	出口栄太郎(三重)	堀本 幸男(松阪)
第16回	平成6年(1994)	芸濃セントラルGC	辻 浩二(芸濃セントラル)	春日井 修(多度)
第15回	平成5年(1993)	パードヒルGC阿山コース	松田 敏博(四日市インター)	木田 正彦(名張)
第14回	平成4年(1992)	津GC	時田 陽充(伊勢シーサイド)	裁山 茂隆(鈴峰)
第13回	平成3年(1991)	ライオンズGC	高阪 喜久(一志)	河辺 秀男(鈴鹿)
第12回	平成2年(1990)	三重白山GC	丸岡 義明(鈴鹿カントリー)	後藤 弥平(四日市)
第11回	平成元年(1989)	賢島CC	藤坂 雅文(津ダイナミック)	堀本 幸男(松阪)
第10回	昭和63年(1988)	三重CC	服部 純(鈴峰)	若松 大介(名張)
第9回	昭和62年(1987)	名張CC	時田 陽充(伊勢シーサイド)	大峯 興一(名張)
第8回	昭和61年(1986)	西日本セブンスリーGC	出口栄太郎(三重)	安藤 欣治(桑名国際)
第7回	昭和60年(1985)	伊勢CC	高阪 喜久(一志)	堀本 幸男(松阪)
第6回	昭和59年(1984)	名四CC	出口栄太郎(三重)	小野 義明(メナード青山)
第5回	昭和58年(1983)	鈴峰GC	松本 紀彦(島ヶ原)	佐藤 勝美(四日市)
第4回	昭和57年(1982)	青山高原CC	川上 実(グリーンハイランド)	竹内 久雄(鈴鹿)
第3回	昭和56年(1981)	松阪CC	出口栄太郎(三重)	竹上 常夫(松阪)
第2回	昭和55年(1980)	島ヶ原CC	松本 紀彦(島ヶ原)	前田 信輔(亀山)
第1回	昭和54年(1979)	三鈴CC	出口栄太郎(三重)	吉川 勝(名張)